

地方の取組の状況と国の支援策について  
～早生樹・エリートツリーのさらなる促進に向けて～

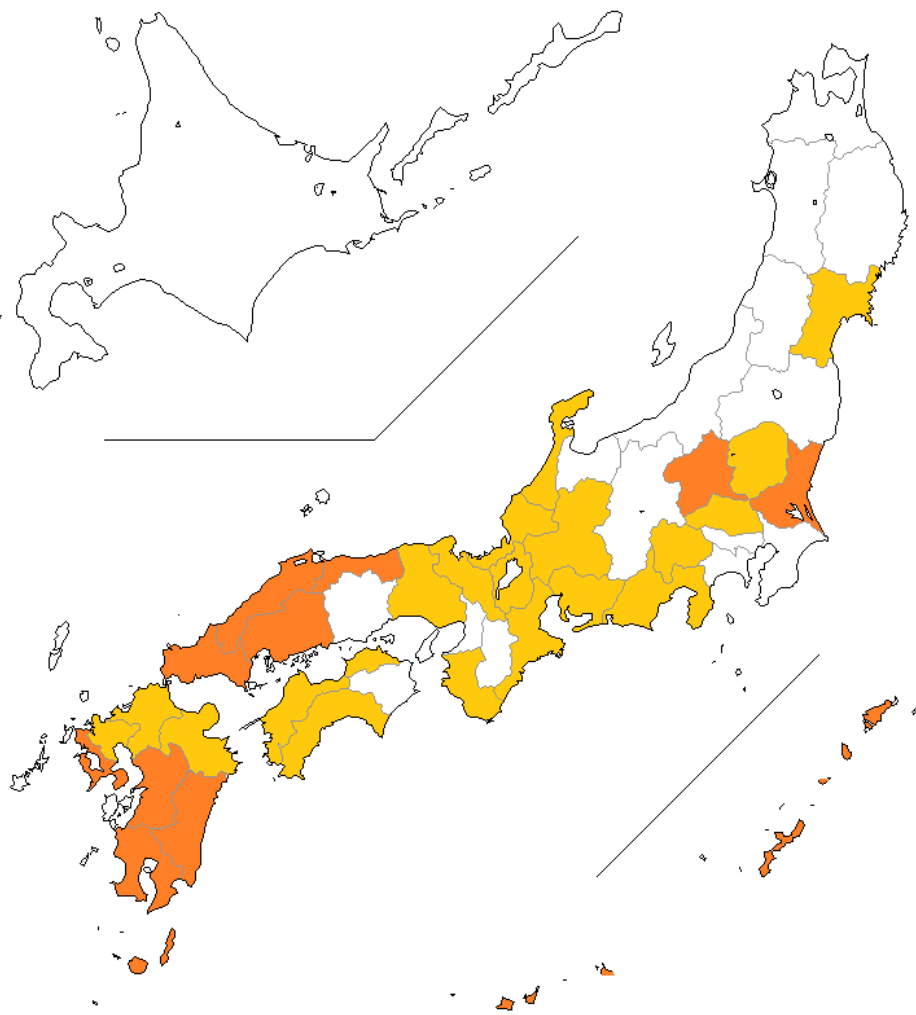
林野庁造林間伐対策室長  
長崎屋 圭太

# 都道府県における早生樹への取組状況 ～造林樹種の多様化への取組～

昨年10月に各都道府県に取組状況を調査した結果より

現在取り組んでおり今後  
も推進していきたい

検討中



## ＜各県の取組内容＞

茨城県	県森連と県苗組が共同で試験的にコウヨウザンのコンテナ苗生産、試験地への植栽を実施。
群馬県	林業試験場において、活用について調査・検討を進めている。
鳥取県	県単独事業でコウヨウザンのモデル林造成を支援。
島根県	コウヨウザンを森林整備事業で採択可能とし各事業体へ呼びかけ。 県内各地に試験地を設け、生育調査や獣害調査等を実施。
広島県	コウヨウザンを森林整備事業で採択可能とし各事業体へ呼びかけ。 苗木の生産に取組。
山口県	コウヨウザン、センダン、チャンチンモドキ等について苗木生産、施業技術の検証を実施。 県内に生育する樹種の中から候補を選抜し可能性を検討
長崎県	コウヨウザンやセンダンなど9樹種について早生樹現地適正化試験を実施。
熊本県	センダンをはじめとする成長の優れた樹種を活用して植栽と下刈りコストの縮減に取組。
宮崎県	試験研究機関による早生樹林の造成と管理技術に関する研究を実施。
鹿児島県	コウヨウザンを森林整備事業で採択可能とし取組み。
沖縄県	里山やアクセスのよい造成未利用地において、ウラジロエノキ・ハマセンダン等の早生樹種の植栽を推奨。

# 都道府県における特定母樹生産への取組状況

(今年1月現在で各都道府県に取組状況を調査した結果より)

## <特定母樹の指定状況>

育種基本区	スギ	ヒノキ	カラマツ	計
北海道			1(注1)	1
東北	58		9	67
関東	55	26	44	125
関西	26	24		50
九州	38(注2)	1		39
計	177	51	54	282

(注1)グイマツ(中標津5号)であり、本特定母樹から特定事業者等が採種して配布する種穂はクリーンラーチ(中標津5号×カラマツ精英樹)である。

(注2)うち6種類は少花粉品種。

## <特定母樹生産の取り組み状況(都道府県数)>

	～2018		2019～2023		2024～2028		計	
	採種穂園の造成	苗木生産者への種穂の配布	採種穂園の造成	苗木生産者への種穂の配布	採種穂園の造成	苗木生産者への種穂の配布	採種穂園の造成	苗木生産者への種穂の配布
スギ	16	8	10	12	3	8	29	28
ヒノキ	12	0	2	7	1	6	15	13
カラマツ	5	1	3	0	0	2	8	3
計	33	9	15	19	4	16	52	44

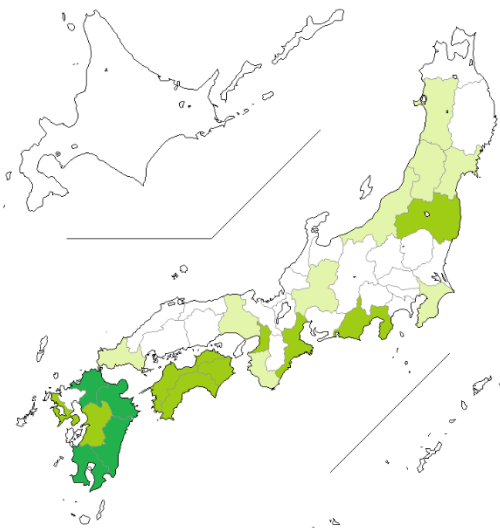
## <特定母樹由来苗木の出荷時期>

～2018までに出荷可能

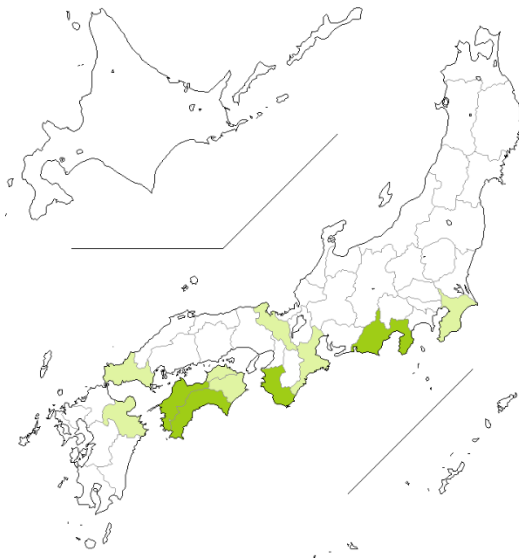
2019～2023までに出荷可能

2024～2028までに出荷可能

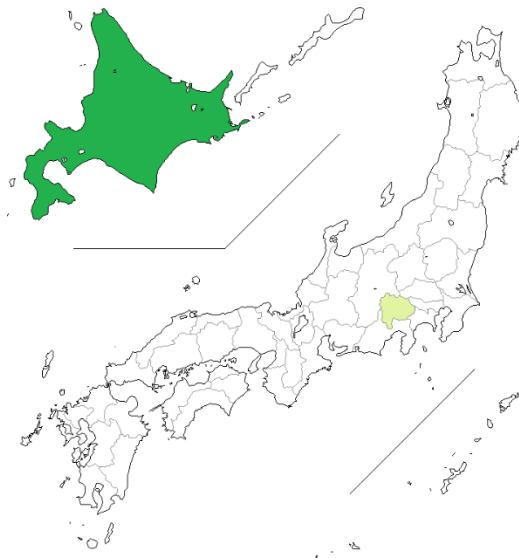
### <スギ>



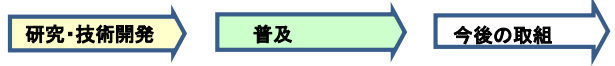
### <ヒノキ>



### <カラマツ>



# 早生樹・エリートツリーの普及に向けて（ロードマップ）



樹種等	課題	解決に向けた方策	H30	H31	H32	H33	H34
早生樹	コウヨウザン	○成長量に差	コウヨウザンの優良種苗生産技術の開発(育種センター H30~H32) 優良系統選抜、採種・採穂園の造成・コンテナ苗生産、アレルゲン性の解明				
		○植栽木に被害がみられる	早生樹の森林整備手法調査(整備課 H29~H31) ガイドライン作成				
	○次世代の萌芽更新技術	○優良種苗の選抜・生産	モデル的な造林への支援(整備課 H31~H33)、国有林における植栽 モデル的な造林を支援し、育成データ等を取得				
センダン	○従来への林業にない施業技術	○野ウサギ被害対策(忌避剤・苗齢)	四国局の森林における萌芽更新の実証、台湾で行われている施業等の情報収集				
		○萌芽更新技術の確立	早生樹の森林整備手法調査(整備課 H29~H31) ガイドライン作成				
チャンチン、チャンチンモドキ ユリノキ ウラジロエノキ 等		○芽かき技術の普及	モデル的な造林への支援(整備課 H31~H33) モデル的な造林を支援し、育成データ等を取得				
		○最適な植栽密度の提案(200本/ha、400本/ha)	モデル的な造林への支援(整備課 H31~H33) モデル的な造林を支援し、育成データ等を取得				
エリートツリー・特定母樹	○苗の増産	○採種園等の造成・改良の推進	植栽(H30~鹿児島県で始まっている: 苗の供給量の増加に合わせて増大)				
			参考: 種子等の採取が可能となる採種園がある府県の数の見込み スギ:4県 ヒノキ:1県      スギ:7県 ヒノキ:1県      スギ:13県 ヒノキ:4県      スギ:13県 ヒノキ:4県      スギ:15県 ヒノキ:6県				
○施業モデルを示す必要		○施業モデルの構築	成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(技会 H30~H34)				
			1 育苗技術高度化 ← 出荷サイズ規定 → 育苗スケジュール提案 2 植栽密度・下刈り等 ← 最適な植栽密度・下刈り回数・スケジュールの提示 →				

# 早生樹の育成の推進に向けた施策の概要（施業指針、育成支援）

## 早生樹利用による森林整備手法検討調査

1年目と2年目の報告書は林野庁HPで公開しています。

[http://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/sinrin\\_seibi/houkoku.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/sinrin_seibi/houkoku.html)

ホーム>分野別情報>森林整備事業>森林整備に関する調査報告書

1年目 (H29年度)	2年目 (H30年度)	3年目 (H31年度)
<b>既存植栽地の調査【施業履歴確認・現地調査】</b> 1年目10箇所      2年目8箇所		
<b>早生樹植栽及び生育状況等調査【地拵え・植栽・現地調査】</b> 1年目5箇所      2年目3箇所		
	<b>早生樹植栽及び生育状況等調査【下刈り・芽かき・現地調査】</b> 1年目5箇所      2年目8箇所	
文献調査		
種苗生産に関する実態調査 【直近5年以上の状況調査】	早生樹に関する実態調査 【生産目標やニーズ等】	
早生樹ガイドラインの検討		ガイドラインの作成

実証的植栽地位置図



## 林業成長産業化総合対策

### うち 資源高度利用資源高度利用型施業

#### ○ 早生樹のモデル的造林を支援

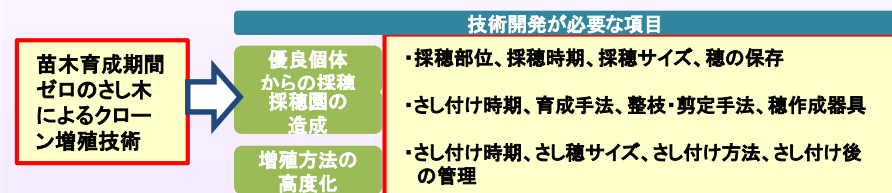
- ・ 成長が早いコウヨウザンやセンダン等の早生樹の植栽、下刈り等を支援。
- ・ 施工地、植栽樹種、植栽密度、苗木の調達先等をデータベース化して、今後の施業の高度化等につなげる予定。

# 早生樹の育成の推進に向けた施策の概要（優良種苗の確保）

## 優良種苗低コスト生産推進事業【拡充】

### ①早生樹等の原種増産技術の開発の強化

採種園等を造成するための原種苗木の増産技術開発とその指導・普及を支援



### ②採種園等の造成・改良等

都道府県域を越えた種穂の広域供給や早生樹の苗木生産を目的とした採種園等モデル的な取組に対する支援



早生樹の採種園等のモデル的な取組を強化

スギやヒノキに代わって植林樹種の選択肢が拡大

都道府県等が行う採種園等の造成・改良及び機能向上に支援

今までは造成・改良のみに支援



造成後の採種園・採穂園

#### 必要な対策

- ・病虫害等により枯死した母樹の植替え
- ・日照確保や防風、外部花粉防除のための対策
- ・種穂の生産に適した母樹等の整備

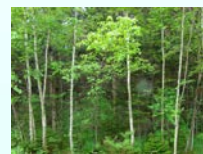
優良品種の生産性が向上

早生樹を含む再造林、花粉症対策等への貢献

### ③採種園の再活用等(国有林)

再造林を確実に進めていくため、利用されなくなった採種園等の再活用や、優良樹種を植栽した人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備

- ・利用されなくなった採種園等の園内整備  
旧採種園等に現存する母樹の種穂の採取環境等を整備する。



利用されなくなった採種園等



園内整備後の状況

- ・利用されなくなった採種園等の母樹の更新  
旧採種園等を花粉症対策採種園等に改良



利用されなくなった採種園等



母樹の植え換え(イメージ)

- ・人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備



優良樹種を植栽した人工造林地



優良種苗のより早期の安定供給に貢献